

地域の歴史を学び、地域の魅力を 発信することのできる児童の育成



6年 社会

「町人の文化と新しい学問」+α
“千束から知る町人文化”
(江戸のメディア王 蔦屋重三郎)



タブレットを使うと、資料が
拡大できるね。
細かいところまで、見たいと
ころがよく見えて、たくさんの
発見があったよ。

「千束から知る江戸文化」まとめ

もし、蔦屋重三郎が江戸時代の千束や
浅草の町の様子を紹介したら...

あなたは、今の千束や浅草の町を
どのように紹介しますか？



つたや じゅうざぶろう
蔦屋 重三郎

蔦屋重三郎「箱入娘面屋人魚3巻」を加工 国立国会図書館蔵

- ・下町に 今も残るよ 江戸文化
- ・浅草は今も昔も平和な町
そして文化が花開く町
- ・今も昔も飽きることのない
きらびやかな浅草の町
- ・やりたいことを貫いている浅草の町
- ・千束は 国の中でもナンバーワン

〔取組の目的〕 一人一台端末を活用することで、一人一人が確実に資料を読み取り、自分の思いや考えを表現できるようにする。

〔工夫した点〕 ○一人一台端末を用いて資料を配布し、自由に拡大などして読み取れるようにした。

○ベン図型の思考の可視化ツールを開発・活用し、学んだことを表現できるようにした。

〔成果〕 ◆江戸文化の中心地だった自分たちの地域の歴史を知ること、自分事として意欲的に学ぶことができた。

◆一人一台端末の活用により、書字が苦手な児童も自分の考えをのびのびと表現することができた。